

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	事務所名	TEL	発表者名 （担当者名）	その他の 配布先
3／2 （金）	兵庫県森林組合連合会	078-381-5425	代表理事長 石堂則本 （専務理事 塩谷元宏）	

兵庫県林業会館建替え工事の着手について

兵庫県森林組合連合会をはじめ兵庫県林業関係4団体では、古くなった旧林業会館の建替えに当たり、民間住宅に比べて木材利用があまり進んでこなかったオフィスビル、とりわけ都心部防火地域における中高層ビルへの木材利用の促進を目的として、木材の効果的な利用方法を提案すべく、汎用性があり、普及促進が期待できる建築の具現化を目指して計画を進めています。

平成29年3月から、兵庫県林業会館新築工事建築実証協議会を立ち上げ、協議会での議論を元に、基本設計実証・実施設計施工一括発注プロポーザルを経て、実施設計・施工者を選定し、平成29年11月からは実施設計に取り組むとともに、旧会館の取り壊し工事を進めてきましたが、平成30年2月末で全ての準備が整い、いよいよ新築工事に着手する運びとなりました。

なお、本建替え工事については、林野庁（基本設計実証・部材燃焼試験）、環境省（実施設計・施工等）、兵庫県（環境省補助対象外工事）の補助を受けて進めています。

記

1 事業の概要

(1) 建築工事着手日：平成30年3月1日（木）

3月6日（火）午前10時から建築現場において工事安全祈願祭を執り行います。

(2) 建築場所：神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

(3) 建築主：兵庫県森林組合連合会、兵庫県木材業協同組合連合会、
（一社）兵庫県治山林道協会、兵庫県林業種苗協同組合

(4) 基本設計実証、性能試験等：兵庫県林業会館新築工事建築実証協議会 ※1
＜協議会構成メンバー＞

林業関係4団体(建築主)、(株)地域計画建築研究所「アルパック」(基本設計実証・協議会事務局)、
京大生生存圏研究所 五十田博教授・立命館大学理工学部 近本智行教授（以上学識者※2）、
(有)金箱構造設計事務所（構造設計実証）、銘建工業株式会社（床部材2時間耐火性能試験）、
桜設計集団一級建築士事務所（耐火等部材開発）、兵庫県（助言）

※1：平成30年度以降は、引続き事業管理と竣工後の環境性能モニタリング等を実施予定。

※2：平成28・29年度は林野庁事業専門家派遣。

(5) 実施設計：株式会社 竹中工務店

(6) 施工：竹中工務店・大和ハウス工業特定建設工事共同企業体

(7) 工期：平成30年3月1日～平成30年12月31日（入居予定：31年2月）

(8) 建築費：約6億円

2 新「兵庫県林業会館」の建築概要

- (1) 構造：CLT+鉄骨ハイブリッド構造5階建（1階のみ鉄筋コンクリート造）
- (2) 延床面積：約 1,500 m²
- (3) CLT 使用部位：壁、床（兵庫県産木材を、銘建工業(株)CLT 工場(岡山県真庭市)で制作加工）
- (4) 木材使用量：約 230 m³（兵庫県産木材を使用）

平均的な在来軸組工法戸建て住宅約 10 棟分に相当、森林約 15ha 分の間伐促進効果

3 新「兵庫県林業会館」の特色

- ・主要構造に CLT パネルを使用した、都市型耐火オフィスビルのプロトタイプ
 - ・中高層建築・大規模建築における CLT パネルの使用に先鞭をつけるモデル建築物
 - ・CLT 耐震壁を建物外部からも見える現し（あらわし）利用とする中層耐火建築は日本初
- (1) 都市部の多様な建築に応用できる日本初の「CLT+鉄骨ハイブリッド構造」の開発
 - ① 鉛直力を支える鉄骨フレームと水平力を負担する CLT 耐震壁。
鉄骨フレームに CLT パネルを接合する技術を開発したことにより、鉄骨と CLT パネルそれぞれの長所を生かし高い耐震性能を発揮。
今回開発した技術により将来的には 60m を超える超高層建築への応用も可能。
 - ② 床にも CLT を用いて鉄骨造より約 3 割の軽量化を図り、躯体総重量の削減と、躯体工事の大幅な工期短縮を実現。
 - (2) 多様な用途に対応できる大空間の実現
 - ① 鉄骨梁と CLT 床パネルの組合せにより、テナントオフィスビルに適した無柱空間を実現。
 - ② 内部機能に応じた開口計画が可能で、将来のレイアウト変更も可能。
 - ③ CLT 耐震壁は自由に配置（今回は市松模様）でき、一般的な CLT パネル工法よりも自由度が高い。
 - (3) 木の魅力を発信
 - ① 鉄骨が鉛直力を支えることで、CLT 耐震壁の現し（あらわし）利用を実現。
 - ② CLT 耐震壁は、耐火性能確保のため設置するガラスカーテンウォール越しに館外から見える。
 - ③ 1 階には森林林業、木材産業、木造建築物等に関わる情報を発信する展示コーナーを整備。

4 その他

- (1) CLT 建方工事は平成 30 年 7 月頃の予定で、建築・林業木材業関係者等への見学会を開催するよう計画しています。
- (2) 建築物の構造等のお問い合わせは、株式会社竹中工務店広報部へお願いします。

電話 06-6263-5605

5 参考

- (1) CLT（クロス・ラミネイト・ティンバー）
ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネル。強度が高く、断熱性・耐火性等に優れ、欧米で急速に普及している。日本でも、平成 15 年に JAS が制定され、平成 28 年には CLT の建築基準関連告示が施行されたことで、一般利用への道が開けた。今後 CLT の普及により地域材需要の飛躍的な拡大が期待できる。
- (2) 新「兵庫県林業会館」イメージパース：別紙のとおり



新「兵庫県林業会館」イメージパース

(説明)

- 1 兵庫県警察本部の南西交差点付近から、南西方向を望む。
(建物の向かって右側は北面、向かって左側は東面)
- 2 1階は鉄筋コンクリート造、2～5階が CLT+鉄骨ハイブリッド造。
- 3 入口は北東の角面 (人が一人立っている場所)。車いすでの来館が可能に設計
- 4 1階は展示コーナーと車庫 (北面から出入り)。2～5階がオフィス空間。
- 5 市松模様で配置される CLT 外壁は、ガラスカーテンウォール越しに館外からも見える。
(なお、CLT 外壁はバランス良く配置すれば良く、バリエーション展開が可能)
- 6 1階東面の柱の奥には、ガラス越しに展示コーナーが見える。